



幸手小だより

幸手市立幸手小学校 令和7年度12月号②児童数259名



夢いっぱい
友だちいっぱい
笑顔いっぱい

努力と成長の巳年をふりかえって

校長 川島正晴

12月4日(木)日陰は冷え冷えとしますが、運動には適したコンディションの中、幸手市小学校ロードレース大会が開催されました。

幸手小学校は6年生が2学級なので、男女とも2チームが参加し、女子のAチームが2位、Bチームが11位で総合4位となりました。男子は、Aチームが3位、Bチームが8位で総合3位となりました。すべての選手が素晴らしい走りをしたこの結果は、胸を張れる大健闘といえるでしょう。補欠で会場まで一緒に参加した選手も、応援やサポートが素晴らしく、チームとしての完成度が見事でした。

保護者や地域の皆様には、ご多用の中でも12月の教育活動に御理解と御支援をいただきまして、心から感謝申し上げます。



さて、「へび年」の一年は、どんな成長がみられましたか？

一人一人の伸び方や方向性はまちまちです。

2025年は「乙巳(きのとみ)」で、努力が実を結び、安定へと向かう年ともいわれます。

私たちは、常に「努力が実を結ぶ」ことを目指して教育活動を進めてきました。学校では、子どもたち一人一人が自分の殻を脱いで、常に新しい自分に成長していけるよう支援をしています。ご家庭でも、たくさんの指導と支援をいただいて、大きく成長できたことでしょう。



また、12月12日(金)には、文部科学省のリーディングDXスクール事業研究指定校の授業公開を行いました。強風の中で、PTA本部の皆様には校内外で駐車場の誘導をしていただきました。心から感謝申し上げます。

来校は約60名、オンラインでも20名近くの方が日本各地から幸手小の5年生の授業を見てくださいました。1組は社会、2組は総合でしたが、どちらもタブレットを子どもたちが活用し、教員が生成AIを使って授業がなされました。これには、子どもたち一人一人の努力が根底にあり、授業者の丁寧な授業準備という努力がありました。多くの皆様の支えをいただいて、授業公開をすることができました。幸手市教育委員会をはじめとする関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。

次は2026年、情熱や変化が象徴となる「午年(うまどし)」がやってきます。子どもたちが情熱をもって学習や生活に取り組めるよう、そして大きく成長できるように、新年も、本校職員一同、情熱と使命感をもち、子どもたちの成長のために全力で取り組んでまいります。新年も、学校教育への御理解と御支援をお願いいたします。結びに、子どもたちと御家族の皆様、地域の皆様のあたたかな年末年始を御祈念申し上げます。よいお年をお迎えください。

